



# 6月 調布幼稚園だより

令和5年5月29日



## 『好きなことを見付ける力』

園長 山形美津子

調布幼稚園の木々も柔らかい緑の葉をつけ、新緑の美しい季節を迎えました。

年少組の保護者会では、「好きなことをたくさん見付けましょう」という話をしました。今号は、「好きなことを見付ける力」と題して、このことのもつ意義について考えてみたいと思います。

昔のことわざに「好きこそ ものの上手なれ」というものがあります。これは、「何事も好きであってこそ上手になる。今は未熟であっても本当に好きならば上達する望みがある」という意味だと言われています。

脳神経外科医、日本大学名誉教授の林 成之先生は、著書『子どもの才能は3歳、7歳、10歳で決まる！』～脳を鍛える10の方法～の中で、「脳はどのように情報を受け入れるのか」ということについて、「脳には、感情を司る神経群があり、『好きだ』『嫌いだ』『面白そうだ』『興味がない』という感情のレッテルをはりまします。ここではられたレッテルがプラスの感情であれば、その後の脳の機能はよく働き、逆にマイナスの感情の場合は機能がしっかり働きません」と書いています。昔のことわざの根拠を医学的に説明されている気がします。

更に、脳を鍛えるには、「物事に興味をもち、好きになる力をつける」「人の話を感動して聞く」等を挙げています。調布幼稚園の子どもたちに、好きなことをたくさん見付ける力を育てたいですね。そして、様々な体験を通して刺激を受け、脳がよく働く賢い子どもに育てたいと思います。

さて、最近の子どもたちの姿を学年ごとにご紹介します。

年少組は、朝、登園すると、保育室に教師が設定した環境の中で自分の好きな遊びを見付けて遊びます。環境には、おうちごっこができるような場や、段ボールで先生が作ったハンドルがあり、乗れる車や電車、ブロック、小さい積み木、お絵かきコーナー等々、また、園庭に出れば、砂場や滑り台、かけっこのできる場など、様々な遊びの場があります。そういう場で、子どもたちは、自分の意思で、進んで遊びを選択し、遊び出せるようになりました。設定された環境の中から自分の意志で遊びを選択できる力を育てたいと思います。自分の意思を働かせることがとても大事です。

年中組は、好きな遊びの時間もたくさんありますが、クラスの活動や学年全体で活動することも多くなっています。4月末から5月中旬にかけては近隣への散歩を4回行いました。散歩と言っても集団で歩くので、歩き方にも守らなければいけないことが多々あります。前の人と間を空けないで歩くことやおしゃべりをしないで歩くこと、足をズルズルしないで歩くこと等、約束事を守って歩くことが大事です。回を重ねるごとに歩き方がとても上手になり、最後の回は「ふくし公園」まで行きました。「ふくし公園」では、固定の遊具や集団遊びをしたり、虫探しをしたりしました。最後はみんなで宝探しをして楽しい時間も過ごしました。みんなできまりを守る大切さを学びました。

年長組は、5月連休明けに、「こどもの畑」でソラマメを収穫しました。コロナ感染症の制限が減ったことで今年は収穫したソラマメを幼稚園で茹でて友達と一緒に食べることができました。家庭に持ち帰って頂くのもいいのですが、幼稚園で収穫したものを友達と一緒に食べる喜びは格別です。友達と共通の体験ができたことが何より良かったと思います。その後、中庭にある大きなプランターに田植えもしました。田んぼを作るところから始めて、田んぼの土のヌルヌル感や深さなどを十分に感じてからの田植えでした。丸いタライには、昨年、幼稚園で収穫したお米（調布米）の早苗（さなえ…稲の苗のこと）も植えました。買った苗と幼稚園で育てた苗と、生長や味の違いが表れるのでしょうか。何事も試してみることはいいことですね。子どもたちも実りの秋を楽しみにしています。

どの学年の子どもたちも、好きなことやみんなで活動することを通して、自分の興味のあるものを見付け、そのことに真剣に取り組むことができるようになってきています。さらに深めていくために幼稚園では環境を充実したり、援助をしたりして、「好きなことを見付ける力」を育てていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# 6月の目標

## 全学年

- 身近な初夏の自然や、梅雨の時期の気象に関心をもったり、栽培物の世話をしたり、収穫の喜びを味わったりする。
- 梅雨の晴れ間を活用し、園庭やグラウンドで教師や友達と体を思い切り動かし心地よさを味わう。
- プールでの約束を守り、安全に遊ぶ。
- 水の心地よさを感じ水に親しみ、水遊びを楽しむ。

## 年少組

- 同じ場にいる友達に親しみをもつ。
- 担任に親しみをもち学級のみんなでする活動を楽しめるようになる。
- 自分のやりたい遊びを見付け、自分なりの楽しみ方で繰り返し遊ぶことを楽しむ。
- 生活に必要なことが分かり、衣服の着脱等を自分で行おうとする。

## 年中組

- 担任や気の合う友達とかかわりながら、自分のやりたい遊びを楽しむ。
- 好きな遊びの中で、身近な素材を使って遊びに使うものを作ったり、友達と同じ動きをしたりして楽しむ。
- 好きな運動遊びに楽しんで取り組む。
- ダンゴムシ、アリ、チョウなどの身近な生きものに興味をもつ。
- 色水遊びで、混色を楽しんだり、廃材で作った舟を浮かべたりするなど、水を使った遊びを楽しむ中で、素材の性質に気付く。

## 年長組

- 友達とのつながりを深め、思いを伝えたり、相手の思いも聞いたりしながらイメージをもって遊びを進める。
- 1日の園生活に見通しをもち、行動する。
- 試行錯誤して遊びや水遊びを進める中で、様々なことに気付いたり、友達と共感したりして楽しむ。



## 季節の歌

顧問 外崎明美

### かたつむり

作詞 作曲 文部省唱歌

でんでんむしむし かたつむり  
おまえのあたまは どこにある  
つのだせ やりだせ あたまだせ ♪

でんでんむしむし かたつむり  
おまえのめだまは どこにある  
つのだせ やりだせ めだまだせ ♪

### カタツムリのエサ

キュウリ、ニンジン、大根、キャベツ、レタス、カボチャ、リンゴの皮、スイカの皮など、、、  
ほうれん草はカルシウムと結合してしまうシュウ酸が含まれているので、与えない方がよいです。

また、カタツムリがコンクリートの上を歩くのはコンクリートを食べているのです。カタツムリの殻が固くなるように、カルシウムをコンクリートから摂っています。卵の殻も食べます。

幼稚園にも、カタツムリがいるので、見て下さいね。触ったら、手を洗いましょう。